

活用場面

CI

学習課題の考えづくりにおいて、生徒自身が、全体交流等で資料を示して視覚的に伝え合う

活用したソフトや機能：協働学習支援ツール（ロイロ）

学 年：中学校第1学年 教科：社会
単 元 名：「世界の諸地域 ヨーロッパ州」

○ 本時について(3/4)

(1)ねらい



・イギリスがEUを離脱した理由を追究する活動を通して、EUには域内にある経済面の格差から、予算の負担や移民の流入による課題点があることを考察することができる。

(2)評価規準

・イギリスがEU離脱に至った理由を、EUのデメリットに複数触れながら考察し、考えている。

【思考・判断・表現】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 前時の学びを確認する。 2 EU離脱を喜ぶ人々の写真から学習課題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">EUには利点が多いのに、イギリスはなぜ離脱したのだろうか。</div>	・視点に基づく資料を色別で分け、視覚的に指示しながら、スクランブル交流を行っている。 
展開	3 課題に対する予想をもつ。 ・国同士の格差があるから。(経済) ・加盟国が多く、物事が進まず、決まらないから。(政治) 4 資料をもとに考えをもち、交流する。(個→スクランブル) ・高い給料を求めてきた移民が多く、自国での労働条件や働き口が難しくなるから。(経済・格差) ・先進国の負担が大きく不満があるから。(経済・政治)	・全体交流で、視覚的に資料を示しながら説明している。 
終末	5 EUのメリットと比較し、考えを整理する。 ・EU域内の格差や加盟国の多さから生まれるEUのデメリットがあるからイギリスは離脱したのだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">イギリスが離脱したのは、EU域内の格差があることから先進国の負担が増えたり、移民が高い給料を求めて流入し、自国民の失業につながったりする等の課題があるから。</div>	

活用の際のワンポイント！

- 生徒自身で、視覚的に資料を示すことによって、「どの事実から考えたことなのか。」分かりやすく伝え合うことができます。
- 生徒が、資料に書き込んだり、線や枠で囲ったりすることで、資料から主体的に考えづくりを行うことができます。